THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI

広島廿日市ロータリークラブ 会報

2020年 1・2月号 No.424

◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「ロータリーに熱き思いを・仲間と共に」

例会日／毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／上杉　昌幸　　幹事／松本　　猛

事務局
〒 738-0015 広島県廿日市市本町 5 番 1 号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail ／ office20@h-hrc.com
URL ／ http://www.h-hrc.com/

第1037回　瀬戸内料理　たか福　2020年１月８日

新年夜間例会

第1038回　広島サンプラザ　2020年１月20日

会長時間

理事会報告

副会長　**松本　　猛**

誕生祝

卓　話

「ちょっと得するのし紙の話」

水引講師　**吉長　孝衛**　様

第1039回　広島サンプラザ　2020年１月27日

会長時間

会長　**上杉　昌幸**

卓　話

「知って、見て、味わう広島の地魚の魅力」

おさかなマイスター　**力本　夕佳里**　様

第1040回 広島サンプラザ 2020年2月3日

会長時間

会長 **上杉 昌幸**

誕生祝

卓 話

「障害がある児童生徒の自立や社会参加」

広島県立廿日市特別支援学校
校長 **平川 泰寛** 先生

広島県立廿日市特別支援学校は、昭和49年に設置された県内最初の知的障害を対象とした特別支援学校で、就学区域の広島市佐伯区、大竹市及び廿日市市の児童生徒222名が在籍しています（小学部87名、中学部52名、高等部83名）。

学校教育目標を「児童生徒一人一人の教育的ニーズ、特性に応じた教育を行い、その可能性を伸ばし、豊かにたくましく生きる力を育てる。」として、社会の中でより良く生きていく力や習慣を身に付けるため、その児童生徒なりの、きちんとした挨拶ができるように指導をしています。

職業的自立に向け、本県の特別支援学校ではジョブサポートティーチャーの配置、特別支援学校技能検定の実施、就職サポート隊ひろしま登録企業の募集等を進めています。一人でも多くの皆様の御理解と御協力を賜れば幸いです。

さて、知的障害がある児童生徒の状態は多様です。一見しただけでは知的障害があることが分かりにくい児童生徒もいますが、習得した知識や技能が偏ったり、断片的になりやすかったりすること、抽象的な指導内容よりは、実際的・具体的な内容が習得されやすいこと、言葉のみの説明ではなく、視覚的な情報を活用することで理解が促進されやすいなどの共通した障害の特性があります。

そのため、学習指導要領では、障害の特性に応じた指導上の配慮として、ICTを効果的に活用するよう示されていますが、本県の特別支援学校は、教育用コンピュータ１台当たりの児童生徒数が全国43位であり、ICT活用に係る環境整備が不十分な状況です。本校も、iPadを11台しか保有できていません。

児童生徒一人一人の発達段階や障害の特性等に応じた指導を充実させるためには、全学級でiPadを効果的に活用して視覚的な支援を行うことが重要と考えます。

最後に、本校の児童生徒について御理解いただくとともに、自立や社会参加に向けて必要な御支援を賜りますようお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

第1041回 広島サンプラザ 2020年2月17日

会長時間

理事会報告

副会長 **松本 猛**

卓 話

「女性の自立について！」
～主婦から専門学校設立、経営 32 年～

学校法人ひらた学園
理事長・学校長 **平田 冨美子** 先生

人は『本当に学校つくったの？』いぶかしげに私に質問する。『本当よ。それも40歳から！』

私は福岡出身で仕事をやめて主人の転勤で45年前に広島に来ました。その間再就職を試みましたが、子持ちの女性を雇ってくれるところはなく、それなら自ら資格を取って自立を図りました。その前向きさは、父の交通事故死、身内の人たちの続けての死を迎え『死』が必然でありいつか私も……だからどう生きる？と課題を抱えて一生懸命生きることが私の答えであります。

40歳になって「丁度人生の折り返し地点、今まで社会や人のお世話になりここまで来たので、これからはお返しの年齢、社会にお役にたつ事をしよう」と心に決めました。

私に何が出来るか？「女性が生き生きしている街は明るく元気である。女性の能力をもっと社会に役立たせてほしい」という思いで、「女性の力を街づくりに！」をテーマに32年前40歳で再就職の婦人能力開発研究所を一人で立ち上げました。

「女性の経済的自立支援」「女性の職域拡大」を目指し、日本初の女性左官、電気工事士、造園技能士、内装とこれまで男性の職場と言われた職人の世界への挑戦が始まりました。

平成７年IWAD女子技術学校設立。多くの女性が業界に就職し、社長や独立する女性が出ました。

平成12年ごろ不況で失業率５％以上となり、仕事、将来に対して男女ともに大変厳しい時代となりました。自立促進教育の必要性が高まり男女の垣根をはずして、「自立し社会に貢献できる人材育成」を目的に平成16年男女共学のIWAD環境福祉専門学校に移行しました。又、第１回男女参画共同社会「女性のチャレンジ支援大賞」(内閣官房長官賞)を受賞いたしました。

私が元気に働けば周りが明るくなる。一人一人の思いが街を作っていくために私から何かを始めました。32年お役にたちたい思いが、実は私の人生を豊かにし、素晴らしい人たちとの出会いがあり、教育という仕事に中で感動と未来への希望を頂きました。

これから「幅広い年齢層が学べる学校」「地域の担い手」「自立できる人材」超高齢化社会、少子化社会に向けて、医療、介護、保育の人材育成と雇用に尽力していきます。

今年４月より『広島国際医療福祉専門学校』へ名称変更と同時に留学生を受け入れグローバルな学校環境となります。女性も男性も共生し介護、保育については働きやすい環境を整備してこの難関を共に携えて明るい未来を作りましょう。子供たちの為に！

活動報告

インフォーマル・ミーティング
2020年2月21日
リーガロイヤルホテル広島 33階
レストランシャンボール

御手洗川清掃
2020年2月23日

第５回カラオケ同好会
2020年2月10日
デュエット

出席者は、11名
藤岡さん　ご夫妻、永井さん　ご夫妻、河内さん
佐伯さんご夫妻、青木さん奥さん
山根さん、高尾さん、石原さん

廿日市ロータリークラブ会員の皆様
ご家族の皆様

あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2009－2010学年度ロータリー米山奨学生崔　明福です。
わたくし、崔明福は、昨年の11月28日に中国に帰国し、現在は元の勤務先である、長春大学で働いております。
中国に帰ってからは、色んな手続きや住まいの確保で大変でした。やっと、先日気に入った物件を見つけましたが､中を綺麗にして入居できるまでは1ヵ月くらいかかりそうです。長春は、とても寒く、一番寒い時には最高気温がマイナス20何度です。帰ってきたばかりの時はなかなか慣れなく、次の日にすぐチケットを購入し、広島に帰りたい気持ちでした。最近は、少しずつ慣れてはいますが、外に出ると空気がとても冷たく、マスクを手放せません。温かい広島がとても懐かしく思います。
昨年のクリスマス夜間例会には２年連続欠席してしまいまして、とても申し訳なく、また、残念に思っております。ただ、送別会の時に、山根サンタお爺ちゃんからこのようなお言葉をいただきました。（もし、崔さんがクリスマス夜間例会に来てくれるなら、特別なプレゼントを用意します）と。いつか、無理をしてても、クリスマス夜間例会に参加いたします。山根サンタお爺ちゃん､その時にはぜひ特別なプレゼントをお願いいたしますね｡楽しみにしております。
さて、日本に滞在している時、私は、廿日市ロータリークラブ会員の皆さまから仕事や生活に対する真摯な姿勢から色んな貴重なことをたくさん学ぶことができました。ぜひ、今後の仕事に生かしていきたく思っております。
元の職場に戻ってはいますが、原点に戻ってきた気持ちで、今後も邁進していく所存でありますので、今後もどうぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
最後になりますが、廿日市ロータリークラブ会員の皆さんとご家族のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

2020年１月７日
2009－2010学年度ロータリー米山奨学生　崔　明福